資料３

報告書

佐久市子育て支援課　御中
佐久市健康づくり推進課　御中

作成日　令和６年５月９日
作成者　島﨑直也、島﨑アイコ

佐久市子ども・子育て支援拠点施設開館前ワークショップ第２回 実施報告書

実施内容

【実施ワークショップ名】
ものづくりを楽しもう！
『シン・ガムダン～新聞紙、ガムテープ、段ボールで何つくる？～』
こどものように「ものづくり遊び」を楽しんで、創造性を発揮！

【ワークショップ実施目的】
・こどもも大人も、身近なものをつかったものづくりや遊びの楽しさを体感してもらう
・より多くの人たちに、新しくできる子育て支援拠点施設に関心を持ってもらう
・遊びや子育て支援に関して声を集める
・子育て支援拠点施設オープン後の遊びに関するボランティア活動について、より実践的なイメージを持ってもらう。

【実施日時】令和６年３月 24 日（日）　10 時～16 時　　※途中入退場自由
【実施場所】イオンモール佐久平　２階　コスモス催事場（島村楽器やナムコの前）

【主催者】佐久市福祉部子育て支援課・健康づくり推進課
※当日スタッフ（敬称略）
　子育て支援課　　小林　利樹、大井　裕史
　健康づくり推進課　　小須田　理紗、本間　美冬

【協力】イオンモール佐久平

【ワークショップ企画実施者】なおやマン（島﨑直也。前佐久市こども未来館館長、佐久市子ども・子育て支援拠点施設運営検討有識者会議会長。）、しま：アイ（島﨑アイコ）

【参加者】対象：こどもや大人、どなたでも（主に、こどもや親子）

【参加費】無料

【募集定員】特になし（開催時間中、自由に参加可能）

【参加者数】120 名

【参加者募集方法と時期】
佐久市ＳＮＳ（佐久市ＬＩＮＥなど）、なおやマンＳＮＳ（Twitter、facebook）にて、３月７日より告知開始。イオンモール佐久平の 3 月 8 日新聞折り込みのチラシと WEB サイトに掲載。

ワークショップの概要

【ワークショップの内容】
入退場自由の造形ワークショップと子育て支援拠点施設に関する展示。
・造形ワークショップ：新聞紙、カラーガムテープ、段ボールを使って、遊びや遊び道具を自由につくることができる。できたものは、持って帰ってもらう。

・ダンボールとガムテープでつくった遊び道具（輪投げやボール転がし等）で遊ぶコーナー。

・佐久市が建築予定の子育て支援拠点施設についての展示：模型と展示パネルの設置。

・子育てや遊びに関して思っていることを付箋に書いて貼るコーナー。

※ワークショップ参加者アンケートを実施し、今後の佐久市のワークショップ開催のお知らせをしても良い人には連絡先を記入してもらった。

アンケート結果

参加者にアンケートに回答してもらい、以下の回答を得た。一部を抜粋して記載する。

・家でなかなかやってあげられないことで、よかったです。

・無料で入れるのがとても良かった。子供の想像力が楽しめました。

・色ガムテープがたくさん仕えて楽しそうに作っていました。

・自分で考えて作るのはいいことですね。

・１からモノづくりをする面白さを感じました。

・少子化の家、子育てに多くの支援が必要だと思います。祖母の立場で参加させていただきましたが、このような機会は大変ありがたいです。

・身近なもので作れ４才の子でもとても楽しめて良いワークショップでした。

・親と子供と協力して作れて楽しい時間を過ごせました。

・自分で作る発想力や集中力につながってすばらしいと思います。

・自由に工作できて材料も沢山あり、満足しました。

・イベントがあると外に出る機会も増えるので親もたすかります。

・小学生も未満児も楽しめる内容でよかったです。

・何もないところから、何か本気でやると、何故か楽しい。

振り返り

今回は、今まで新施設に関心がなかった地域の人達に向けて、新施設について知ってもらう機会をつくる目的で、たくさんの人が集まるショッピングセンターを会場にワークショップを開催した。120 名という人数の親子に参加してもらうことができ、また人通りの多い場所で実施したので、参加者数以上の人達に、新施設を知ってもらうことができたのではないか。施設のターゲットではない層の地域の方々からも新施設に興味があると声をかけて頂いた。アンケートや会場での声から、じっくり時間をかけて「親子で一緒に楽しむ機会」、工作など何かを作ることで、こどもが創造力等を発揮する「自らつくる機会」についての需要があることがわかった。

また、参加した保護者から「日常では、親が下の子の世話で手を取られて、上の子のものづくりにじっくり関わることが難しい」との話も聞いた。施設のターゲット層が、抱えている課題や、施設に求められていることなどを、今後、ワークショップやアンケート等で集めていき、新施設の運営に活かしていくと良いと感じた。今後、様々な対象者、実施形式で、地域の人達向けのワークショップ等を実施し、施設に関わってくれる方々との繋がりをつくっていくことが重要だと思う。

活動記録写真

会場風景

施設紹介コーナー

実施風景

実施風景

創作物